

福岡県結核・感染症発生動向調査解析委員会 週報

週報 令和6年—第36週 (R6. 9. 2～R6. 9. 8)

病 名	定点報告数 (○: 警報レベル □: 注意報レベル)						1定点当たり	
	31週	32週	33週	34週	35週	36週	福岡県	全国
	7/29～	8/5～	8/12～	8/19～	8/26～	9/2～	36週	
							9/2～	
インフルエンザ	92	78	45	33	80	37	0. 19	0. 45
新型コロナウイルス感染症	3257	2022	1422	1267	872	598	3. 02	6. 57
RSウイルス感染症	433	296	122	118	101	94	0. 78	0. 69
咽頭結核熱	42	44	30	41	28	38	0. 32	0. 29
A群溶レン菌咽頭炎	○559	○427	202	427	451	444	3. 70	1. 89
感染性胃腸炎	441	313	191	424	437	398	3. 32	2. 87
水痘	35	16	27	30	17	47	0. 39	0. 14
手足口病	○1059	○649	○383	○489	○565	○622	○5. 18	7. 17
伝染性紅斑	3	4	2	11	8	2	0. 02	0. 18
突発性発しん	44	37	31	56	44	42	0. 35	0. 31
ヘルパンギーナ	230	163	65	65	105	91	0. 76	0. 81
流行性耳下腺炎	4	5	0	2	7	5	0. 04	0. 04
川崎病 (MCLS)	11	4	10	3	6	3	0. 02	
マイコプラズマ肺炎	218	212	176	280	254	225	1. 14	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0. 00	
無菌性髄膜炎	1	0	1	1	0	1	0. 01	
急性脳炎	1	0	1	3	1	5	0. 03	
急性出血性結膜炎	1	0	0	1	0	1	0. 04	0. 02
流行性角結膜炎	4	4	2	8	7	8	0. 31	0. 44

月報 令和6年—7月 (R6. 7. 1～R6. 7. 31)

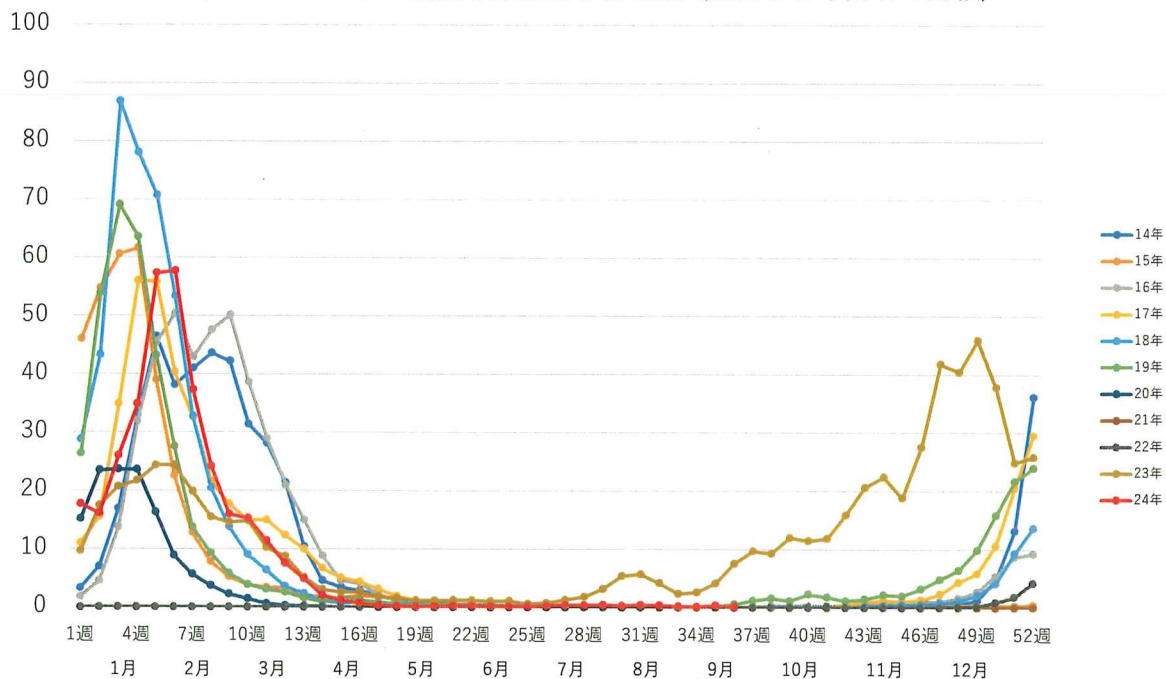
病 名	定点報告数	前月比	主な増加地区等	1定点当たりの患者数	
				福岡県	全 国
性器クラミジア感染症	155	127%	福岡87、北九州36	4. 19	2. 73
性器ヘルペス	53	117%	福岡32、筑後10	1. 43	0. 88
尖圭コンジローマ	23	164%	福岡15、筑後4	0. 62	0. 58
淋菌感染症	38	111%	福岡23、筑後10	1. 03	0. 78

■ 総 評

▽ 2024年第36週: R6. 9/2-9/8は新型コロナウイルス感染症が6週連続減少している。インフルエンザは今週減少し定点当たり0. 19と1. 0未満、キットではA型10人、B型1人。RSウイルス感染症は減少傾向。A群溶レン菌咽頭炎は横ばい、感染性胃腸炎は以前の報告数に戻っている。手足口病は再び増加し報告数が多く、第24週から警報レベル、ヘルパンギーナは今週横ばいだが今後にご注意下さい。夏期休暇後で新学期が始まり、集団生活再開で感染症流行・拡大にご注意ください。

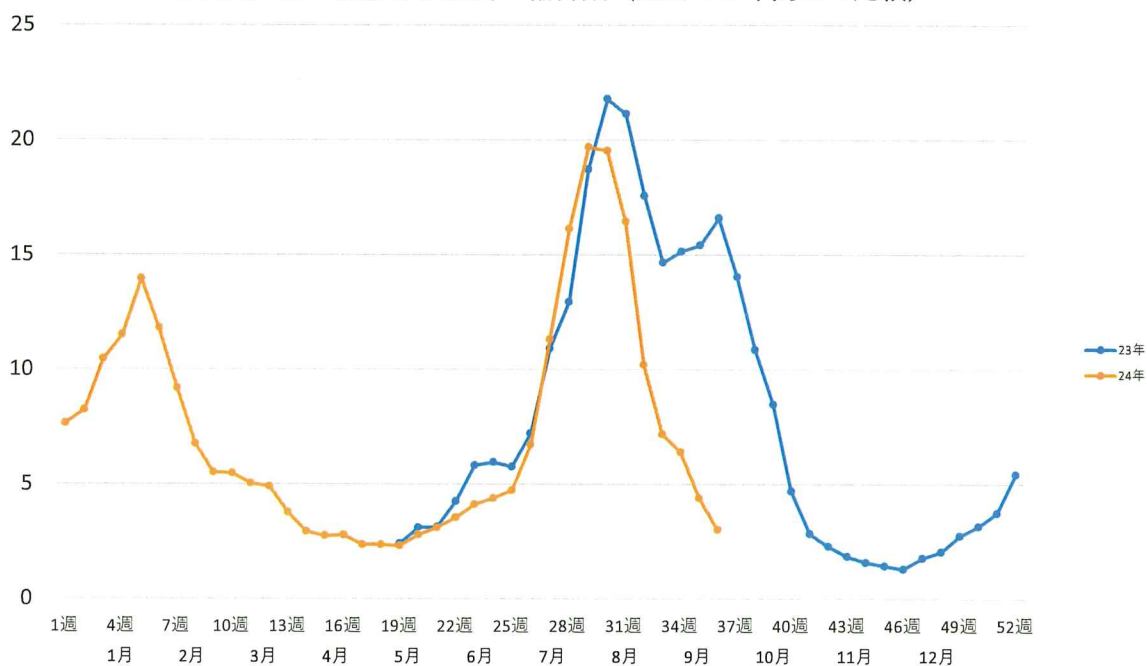
(人/定点)

インフルエンザ 疾病毎定点当り報告数（過去10年間との比較）



(人/定点)

COVID-19 疾病毎定点当り報告数（過去10年間との比較）



(人/定点)

手足口病 疾病毎定点当り報告数（過去10年間との比較）

